

# 令和3年度 第1回静岡県発達障害児者家族等支援事業運営委員会 議事録（抄録）

(日 時) 令和3年11月14日(日) 14:00 ～ 15:30	
(場 所) 静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO (ZOOM)	
(参加者) 発達障害児者家族等支援事業運営委員 6名	
(件名) 令和3年度 第1回 静岡県発達障害児者家族等支援事業 運営委員会	
1 開会	開会 14時00分
4 議事	<p>(1) 家族等支援事業運営委員会設置要領（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から要領（案）について説明</li> <li>・質疑等なし</li> <li>・委員の承認を得て、正要領は後日送付対応とする</li> </ul> <p>(2) 会長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置要領に則り、一般社団法人たけのこが静岡県中西部発達障害者支援センターCOCOの弓削委員を指名し決定した</li> </ul> <p>○以降、議事内容について弓削会長により進行する</p> <p>(3) ペアレントメンター養成等業務実施要領（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から要領（案）について説明</li> <li>・質疑等なし</li> <li>・委員の承認を得て、正要領は後日送付対応とする</li> </ul> <p>(4) 家族等支援事業実施ガイドライン（リーフレット）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折山委員からガイドラインの策定と提供について説明</li> <li>・令和4年度スタートに合わせて、当センターと協議しながら県が作成し、県からまずは中西部（近隣）行政機関に配布し、手続等について周知する予定</li> </ul> <p>(5) ピアサポート業務実施要領（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から要領（案）について説明</li> <li>・質疑等なし</li> <li>・委員の承認を得て、正要領は後日送付対応とする</li> </ul> <p>(6) 本年度の研修体制について</p> <p>○弓削会長から家族等支援事業研修実施計画（資料5-1）に基づき説明</p> <p><b>【運営委員会からのご意見と回答（主旨）】</b></p> <p>➤ 用語について</p>

- ・『ピアサポート』『ピアサポーター』は精神障害福祉分野、教育分野等で既に定義があり使用されており、定義の解釈で混乱が生じる可能性があるため、差別化した用語を使用した方がよい
- ・大阪府ではペアレントメンター協会のもものと区別するために『大阪ペアレントメンター』とした

回答

『ふじのくに発達ペアレントメンター』とし、県事業の認定であることを明示する  
『ふじのくに発達ピアサポーター』とし、当事者に限らず幅広く参加いただけるようにする

➤ 研修内容について

- ・保護者は自身の子育て経験に偏った体験談を語りすぎてしまいやすいので、研修内容を検討する際に留意することを要望する

回答

研修内容に既に留意事項として盛り込まれているため、ご指摘通りに実施する

➤ 実施内容について

- ・本人が確定診断をうけていない場合、ピアサポートを当事者限定でとらえると、参加が難しくなるため、幅を持たせることを要望する

回答

開催目的に応じた参加者であれば、確定診断を求めない  
サポーターについては、当事者限定ではなく、支援者として参加を希望する者としている

➤ キックオフ研修広報について

- ・県の記者クラブでの広報が可能である

回答

県の記者クラブを含め、県全体に広報する

○弓削会長から家族等支援事業年間活動計画（資料 5-2）に基づき説明

【運営委員からのご意見と回答（主旨）】

➤ 現状について

- ・志太榛原圏域：居場所支援等は少ない  
発達障害に特化した形のピアサポートの場などは親の会が行っているが現在はコロナの影響で休止中である  
地域活動センターもあるが、発達障害児者支援には消極的
- ・中東遠圏域：居場所支援をやっている、参加者がアナログゲーム等も楽しめていることを伝えると保護者は知らないことも多い

回答

地域支援コーディネーターと協働しながら、市町行政とも連携して地域での活動をバックアップしていく

➤ ペアレントメンター活動とピアサポート活動の同時開催について

- ・同時開催とすることで、親子のつながりに着目した活動も可能ではないか
- ・預ける場としては放デイなどがある一方、保護者が子どもの様子や関わり方を直接観察する機会がないので、我が子への関わり方を学んだり、他の保護者の子どもへの関わり方を見て学んだりすることのできる場の提供も有効ではないか
- ・学校から見ても、家族支援と本人支援は両輪で取り組むことが必要である

回答

要綱に定められている支援内容と、今回委員から意見のあった居場所支援、家族支援などについて、県及び事務局と協議し事業を整理していく

➤ ピアサポート活動について

- ・かかわりを必要とする活動ばかりではなく、一人が好きな人もいるので、一人で時間を過ごすということも可能な空間づくりが必要ではないか
- ・参加対象者の年齢層を絞った方が、内容がまとまるのではないか
- ・専門職も参加に誘うことで、専門職の方々も具体的な支援の形が見えてくるのではないか

回答

今年度は試行しながら可能性を探っていくため、参加者を当センター利用者とし、調整をしながら実施していく  
専門職の参加への働きかけについては前向きに対応する

(7) ペアレントメンター養成研修参加候補者について

- ・資料に基づき事務局から提案された候補者について、会長から本人像を説明
- ・異議等なし、承認を得た

6 閉会

閉会 15時30分